

国登録有形文化財旧木村家住宅を活用したにぎわい拠点整備事業に係る効果検証シート

(事業期間: 令和7年度～令和11年度)

(1)事業内容

江戸時代の八尾の代表的な産業であった河内木綿を商う木綿商人の庄屋屋敷の建築形態をよく残した木村家住宅の文化財的価値に加えて、近鉄八尾駅に近い利便性を活かして、新たなにぎわいを創出し、地域の活性化を図る魅力ある観光・交流拠点とする。

【事業内容】

- ①情報発信の場
 - ・木綿商人の庄屋屋敷であった文化財的価値を活かし、河内木綿の当時の商売の様子を体感できるよう、庄屋屋敷を当時の姿に復元する。
 - ・観光情報発信拠点を新たに設置し、市内の観光やイベントの情報等の発信も行う。
- ②歴史学習の場
 - ・木村家の所蔵文化財をはじめとした歴史資料をはじめ、本市が所有する文化財資料を展示し、歴史学習の場とする。
- ③市民の交流の場
 - ・市民が講座をはじめとして様々な交流が行える場として活用する。

要素事業	取り組みの概要(実績ベース)	今後の方針等
国登録有形文化財旧木村家住宅整備及び管理運営の方針等の検討	【実績額:0円】 ・国登録有形文化財木村家住宅整備及び管理運営の方針等の検討するため、サウンディング調査を行い、民間事業者からは幅広く管理運営に対する意見を聴取した。また、整備に係る国登録有形文化財部分の建物復元の内容や整備工事に係る建築基準法適合を調査し、整備工事に係る課題を抽出した。	運営にあたっては、コンセッション方式を採用することとし、整備工事にあたっては、運営事業者が円滑に運営できるよう設計段階から意見をふまえることができるEOI方式を採用する。また、速やかに工事着手できるよう発注方法を再検討することとした。

(2)総合戦略における位置づけ：基本目標6 行ってみたい、関わってみたい、住みつづけたい、魅力があふれるまち

(3)重要業績評価指標(KPI)

